

研修会報告

平成 29 年 11 月 3 日

文責：生理検査部門 佐藤 貴光

研修会テーマ「不整脈を学ぶ」

開催日時平成 29 年 11 月 3 日（金）12：45～17：00

東北大学医学部 星陵会館 2 階 医学部開設百周年記念ホール（星陵オーデトリウム）

司会：東北大学病院生理検査センター 三木 俊

・「最新の心電図装置について」

フクダ電子株式会社

・「不整脈の判読を極める」

三重ハートセンター 内田 文也

座長 仙台市立病院 佐藤 貴光

・症例検討～診断に苦慮した症例～

仙台医療センター 菅原 亜紀子

仙台厚生病院 平 真由美

東北大学病院 山口 恵美

座長 東北大学病院 青木 桜子

・「不整脈の治療とチーム医療」

仙台市立病院 循環器内科 石田 明彦

座長 東北大学病院 情野 千文

生涯教育点数 専門 20 点、会員参加者 160 名

内容

今回の心電図研修会は「不整脈を学ぶ」と題し、不整脈の病態や判読法、最新の治療についてなど幅広く学べる内容であった。はじめにフクダ電子株式会社より最新の心電図装置について説明を頂いた。続いて「不整脈の判読を極める」と題し、三重ハートセンターの内田先生より上室頻拍の機序および起源を推定するポイントや、Wide QRS 頻拍の鑑別法について詳しく解説して頂いた。aVR 誘導の初期 QRS ベクトルと心室興奮速度の違いに着目したアルゴリズムによる鑑別など、非常に勉強になる内容であった。症例検討では、診断に苦慮した症例を各施設から提示して頂きディスカッションを行った。変更伝導や房室ブロックなど日常遭遇する症例について、判読の要点や病態についてコメンテーターの先生からの的確なアドバイスを頂いた。続いて「不整脈の治療とチーム医療」として仙台市立病院の石田先生にご講演頂いた。不整脈症例を交えての解説、クライオアブレーションなどの最新治療についても分かりやすくご講演頂いた。

今回の研修会は 173 名と県内外多くの会員に参加頂き、不整脈判読・治療についての理解が深まったものとする。今後も宮城県臨床検査技師会員が積極的に参加し、楽しく学べる生理検査研修会を多く開催していきたい。